

## 第6回金光学院話し方教室より

金光教東京学生寮寮監 辻井篤生

金光教の教師を養成する「金光学院」の学院生を対象にした「話し方教室」へ講師陣の一人として参加させて頂いた。50数名という大人数。全員の前での講義は何とかなったような気がするが、班別での実習指導は私一人。時間を計り忘れてたり、なかなか気の利いたコメントもできず、メロメロだったことを思い出す。



この経験を通してハッと気が付いた。それは金光教東京学生寮で行われている金光教青年教師教話研修や青年教師会からの申請教話のことだ。最近の青年教師は教話がなかなか上手だと思っていたが、学院で話し方を学んでいる効果が見事に表れていたのだ。

そこで一つ言えることは、金光教話し方研究会の教室を受講すると即効性の効果があるということ。話している本人はその上達をなかなか自覚できないものではあるが、聞いている立場からいくとかなり目に見えて上達する。例えば、参集者の目を見て話しているか、話が散漫になっていないか、だけでもかなり違う。

かつての寮での青年教師たちは寮生の顔を見ることができず、あっちの方向を見て話していたり、話の内容があっちに行ったりこっちに来たりで、ダラダラと何を言ってるのかよくわからない人が多かった。これではやはり寝られてしまう。最近寝る人は皆無だ。

もちろん、「話し方教室」は単なる技術の向上だけではなく、コミュニケーション能力の向上やその方の人生観までも変えてしまうほどの効果が期待できる。即効性も持続性もあり、



なんととっても生き方や信心そのものも磨かれ、すてきな人生が約束されているのだ。

みなさん、受けない手はないですよ。